

浅川地区住民自治協議会だより

浅 せせらぎ

みんなで創る 元気な浅川！

第 64 号

発行日 平成30年 9月30日

発行人 山 田 潤

平成 30 年度 「社会を明るくする運動 浅川地区住民のつどい」 開催される

毎年10月は犯罪や非行をした人を社会から排除・孤立させるのではなく再び受け入れることが自然にできる社会を築くことを目標にした第68回「社会を明るくする運動」強調月間です。

浅川地区では7月29日（日）「浅川地区住民のつどい」が“実行委員会”（住民自治協議会・社会福祉協議会・青少年育成委員会・防犯協会・育成会・保護司会・更生保護女性会・少年警察ボランティア協会）主催で開催され、140名の参加者が講演・講話に熱心に聞き入りました。



【長野ダルク～竹内剛代表理事】

今年は、講師に薬物依存症の人々の更生活動を続けている一般社団法人長野ダルクの竹内剛代表を招き、「薬物依存症との戦いの日々～長野ダルクの活動」と題して講演をいただきました。代表ご自身が25年間覚醒剤を使い続けていた経験の中から、薬物依存症防止啓発活動を始めた経緯を淡々とした口調で語る姿に感銘を受けました。

『市販薬（頭痛薬や風邪薬、生理痛薬等）を常用することからも依存症になる危険性があること』、『闘うのは“薬”ではなく“自分”との闘いであり、自分との闘いに勝って初めて明日が見えてくる』、『ひととの出会いと気づきにより成長することによって“人”になってゆく』と語る言葉が印象的でした。

続いて15歳のころから薬物を使うようになり、25歳まで施設や少年刑務所への入退所を繰り返した後、4年前に長野ダルクに入所した田中大貴さん、NHKの“おかあさんといっしょ”で“うたのお兄さん”として活躍していた杉田光央さん。それぞれがご自身の薬物に溺れる生活とその凄絶な体験や長野ダルクでの依存症からの脱却の闘いの生活を語り、ありのままの自分を語ることによって、薬物依存症の恐ろしさを訴え依存症防止の啓発活動を行っていることを話しました。



【田中大貴さん】

杉田さんは薬物依存によってすべてを失ってから、『二度と歌うことがないと思っていたけれど支援者のおかげで今年1月には松川町でコンサートを開けるまでになった。一度罪を犯しても更生できる、何かしら光が見えてくる』と感謝を述べ「浜辺の歌」
「翼をください」を熱唱し、参加者もともに唱和しました。

講演終了後、受付では日本ダルク代表の近藤恒夫さんの著書「拘置所のタンポポ～薬物依存 再起への道」の販売が行われました。

講話では、長野中央警察署若槻大通り交番の内川公晴所長から「最近の犯罪情勢について」があり、特に最近浅川地区で発生した4件の不審者による「小学生への声かけ事件」についての報告があり、防犯ブザーの点検・携帯の徹底等注意を促しました。



【“翼をください”を熱唱する杉田光央さん】



【内川大通り交番所長の講話】

また浅川小学校からは、「つどい」では恒例となっている4年生6名のみなさんの標語、3年生2名のみなさんの作文の発表がありました。

【標語】

“あいさつは 知り合いできるよ うれしいな” 池 田 未 来 さん
 “あいさつは 人を明るくする ひみつの言葉” 青 木 茉 子 さん
 “『こんにちは』 返事が返る うれしいな” 重 倉 愛 耀 さん
 “あいさつが みんなのえがお ささえてる” 伊 藤 礼 さん
 “『こんにちは』 声をかけると えがおさく” 小 山 大 翔 さん
 “あいさつは 人と心がつながる 大きな一歩” 宮 澤 真 帆 さん

【作文】

「あいさつが地域を明るくする」 竹 内 愛 蘭 さん
 「あいさつが地域を明るくする」 小 林 明 莉 さん



【熱心に聴き入る参加者のみなさん】



【浅川小学校のみなさんの作文・標語発表】

受付では **災害義援金の募金活動と選挙啓発活動も！**

～「社会を明るくする運動 浅川地区住民のつどい」に合わせて～



【日赤奉仕団のみなさん】

受付では長野市赤十字奉仕団浅川分団（分団長：吉永いづみさん）が7月の豪雨災害義援金の募金活動を、また浅川地区白バラ会（会長：窪田智子さん）が8月5日の県知事選・県議補選の啓発活動を行いました。



【白バラ会のみなさん】

第11回浅川地区人権住民大会開催される



【会場風景】

8月25日（土）「浅川地区人権住民大会」が行われました。今年「映画を見ながら人権問題を考える～映画“筆子 その愛～天使のピアノ～（常盤貴子主演）」をテーマに映画鑑賞と講演を行いました。

“障害者教育の母”石井筆子。初めてこの国で誕生した知的障害者施設「滝乃川学園」の創設者石井亮一と結婚。知的障害者が「テイノウ」、「ハクチ」として人間としての尊厳を剥奪され、その子供たちがこの世に存在することを拒否された明治時代、自身も知的障害者の子を持つ母親として女性の人権と社会参加と自立の教育の下に、知的障害児の教育と福祉に生涯を捧げた筆子の一生を描いたものです。上映終了後、柳町中学校の特別支援コーディネーターの石塚陽介先生から障害者教育・支援の現状についてお話がありました。

製作総指揮・監督の山田火砂子さんは86歳、75歳でこの映画を制作。監督自身も45歳になる（75歳時点で）重度知的障害者の娘さんを持ち、大きな精神的・経済的困難を乗り越えて、弱者の立場に立った映画を制作し続けてきたことにまず心被打れました。中でも強く感動したのは全国から集まった知的に障害を持つ子供たちがプロの子役たちと共に精一杯の演技で活躍している、その“神のような心を持った”姿でした。

相模原の障害者施設「津久井やまゆり園」事件、中央省庁での障害者雇用数の水増し、政治家の心ないLGBT差別発言、優生保護法による強制不妊手術等、弱者への差別・偏見・攻撃、人権への冒涇が繰り返される現在、苦難な時代の中で高潔な精神と無償の愛を持って生き抜いた筆子の生涯は現代社会の酷薄さに強く警鐘を鳴らすものと感じました。



【石塚陽介先生】

浅川地区市民運動会開かれる！～空模様を心配しながら～

9月2日（日）歴史ある浅川地区市民運動会が開催されました。悪天候の影響で校庭にはあちらこちらに水たまりが出来ている状況の中、前日から役員の皆さんが、開催が可能になるよう祈りつつ準備を進めた甲斐があり、本番を無事終える事が出来ました。

当日は一部実施出来ない競技もありましたが、選手の皆さんは競技が始まるとスタートラインに立つや否や一気に戦闘モードにスイッチが入り、白熱した闘いを繰り広げ、各地区のテントからは大きな声援が飛び交い熱気が伝わってきました。

各地区のテントを覗いてみると、かき氷機を持ち込み子どもたちが美味しそうに食べている賑やかなテントがあるかと思えば、椅子とテーブルを持ち込み観戦するお年寄りが大勢のテントもあり、地区ごとに参加者に対する気配りが窺えました。運動会は成功裡に終わりましたが、今後の課題も垣間見た気がしました。

（教育文化部会・浅川地区公民館連合会 広報部長 永井元治）

<運動会結果>

優勝：屋敷田公民館 準優勝：神楽橋公民館 第3位：浅川西条公民館
ブービー賞：台ヶ窪公民館 特別賞：門沢公民館・大池南公民館・浅川団地公民館



【みんなで気を合わせて！
（むかで競争）】



【入りそうで入らないよー
（玉入れ）】



【焦れば焦るほど水が
こぼれます（満水リレー）】



【運動会の華！（600mリレー）】

門沢の遊休農地で…

“そば”の種蒔き、“えごま”の摘芯行う！

～浅川地区遊休農地活性化委員会～

8月2日（木）猛暑の続く中、今年も門沢の遊休農地（85a）でそばの播種と6月に植付けをしたえごまの摘芯を行いました。

当日8時30分、集まったのは委員会メンバー10名余とJAながのの職員。圃場には熊の足跡が無数にあり、2～3日前にも北郷で熊が目撃されていたこともあって、鳥獣害防止の重要性を改めて認識しました。

そばは播種の前作業として化成肥料を全面に散布した後、散粒機で種を播き、トラクターで耕耘しました。以前は堆肥を撒いていたので大変な作業でしたが、化成肥料にしてから大分作業が軽減されました。メンバーの高齢化が進む中ではやむをえない選択でありました。

えごまは30cmほどに伸びており、その一番下葉から4節目を目安に摘み取る作業。中腰でやる作業はことのほかしんどいもので、水分を補給しつつ900本余の摘芯を終えました。最後に圃場全体に電気柵を張り、11時には作業を終えました。みなさんお疲れさまでした。



【遊休農地活性化委員会のみなさん】



【そばの種】



【散粒機で種を播く】



【熊の足跡だらけ!】



【そのあと耕耘】



【えごまの摘芯】



【最後に電気柵を張りました】

浅川マレットゴルフ場に丸太のベンチ寄贈される！

浅川マレットゴルフ場に8月、中曽根の宮澤木材産業㈱（宮澤重徳会長）さんのご厚意により、丸太のベンチ24脚が寄贈されました。贈られたベンチはきれいに塗装されて各ホールに据え付けられました。

浅川マレットゴルフクラブの竹元光義会長は「地区のみなさんがプレーを楽しみ愛されるゴルフ場にするために今後も努めてまいります。ベンチの提供は大変ありがたく感謝しています。」と語っていました。



【寄贈された丸太のベンチ】

浅川地区保護司会が「ながよし交流会」開催！ ～浅川団地区・浅川西条区で「流しソーメン」を楽しむ～

浅川地区保護司会は8月12日（日）浅川団地自治会館前の広場で、小学生を対象に「浅川団地なかよし交流会」を開催しました。育成会の親子連れや、この行事に協力した「浅川団地もりあげ隊」や「更生保護女性会有志」など、70人余が流しソーメンを楽しみました。

また8月4日（土）には西条区で昨年に続き2回目の「西条なかよし交流会」を行い、150人余の老若男女が集いました。

この行事の目的は、保護司の大切な役割である、青少年の健全育成を願い、犯罪のない明るい社会を目指すという犯罪予防活動の一環であります。

浅川地区の保護司は、この活動を浅川地区全体に広めたいと意気込んでいます。

（浅川地区保護司会 代表 原田基典）



【みんなで流しソーメンに舌鼓を打ちました！（左）浅川西条（右）浅川団地】

蝶ゴマシジミの保護のため監視パトロール行われる！



【ワレモコウに産卵するゴマシジミ】



「浅川地区まちづくり計画」の中で取り組みを進めている野生希少種の蝶ゴマシジミの保護のための監視パトロールが、蝶が生息する長野市霊園で行われました。パトロールを担当しているのは“ゴマシジミ保護育成チーム（相澤リーダー）”を中心に区長会メンバーで、7月末からゴマシジミの産卵の終わる8月末まで交代で実施しました。



【長野市霊園で監視パトロールするメンバー】

チームではこれまでシワクシケアリというアリと共生するゴマシジミの異なる生態を、北部中学校美術部の生徒さんの協力を得て、紙芝居「がんばれ！！ゴマシジミ」にし上演したり、ゴマシジミが卵を産むワレモコウの植え付けを浅川小学校の児童のみなさんの協力を得て実施するなど、絶滅危惧種である蝶の保護育成への啓発活動を行ってきました。

今年は昨年以上にゴマシジミの発生が確認されており、それだけに心ない乱獲者から貴重な生物資源を守る取り組みの強化が求められています。

浅川地区のみなさんのご理解とご協力を改めてお願いします。

社会福祉協議会コーナー

共に生きる



「屋敷田かがやきクラブ」



★開催日★

毎週月曜日（祝日は休み）

体操：9時30分～10時10分

脳トレ：10時15分～10時45分

屋敷田公民館2階

お問い合わせ▶

浅川社会福祉協議会

(Tel.262-1362)



屋敷田地区では毎週月曜日9時30分～屋敷田公民館にて「はつらつ体操&脳トレ」を行っています。浅川地区初の試みで、他の地区でもこのような活動が広がってほしいと思います。浅川地区内の方ならだれでも参加OK！事前申し込み不要！体操したい方・自分の地区で体操グループを立ち上げたい方、是非ご参加ください。

子育て・子育て支援事業

アップルキッズにテレビ信州「マイチャン。おはなし隊」が登場！！

7月19日（木）のアップルキッズでは、テレビ信州（TSB）「マイチャン。おはなし隊」が登場！！「ゆうがたGet!」でおなじみの齋藤沙弥香アナウンサーにお越しいただき「絵本の読み聞かせ」をして頂きました。

そして、サプライズゲスト「マイチャン。」登場！！一緒に元気よく「マイチャン体操」をし、楽しいひと時を過ごしました。



「第64回長野市福祉大会」に参加して

浅川地区住民自治協議会会長 山田 潤

シンポジウムでは、それぞれの地域で特色ある取り組みをされている、3人のシンポジストの方々から活動の紹介がありましたが、自分たちの自由な発想で取り組みをされていることに、深く感動いたしました。

また、信濃毎日新聞の佐藤記者がコメンテーターとして加わったことで、ジャーナリストとしての視点が変わり、議論に深みが出てよかったと思います。

わたしのまちのたすけあい事業・協力会員さん

移送協力会員の宮越仙太郎さんです。いつもニコニコ！お願ひすると「イヤ」とは言わない、とても頼りになる方です！

7年前の東日本大震災では被害にあった大槌町に1週間ボランティア活動に参加！3年前には四国八十八ヶ所のお遍路！そしてマレットゴルフ・畑研究会・雪が降ったら機械を動かし地区の雪かきと……ボランティアに興味にと幅広く活躍されています。

浅川になくてはならない方です！これからも活躍お願ひします。



たすけあい事業「家事援助」協力会員大募集!!

身近な地域で気軽にできる支え合い活動です。

家事援助は資格不要！介護保険のサービスではありませんので、身体介護は行いません。
熱意のある方、あなたのご協力をお待ちしています。

たすけあい事業とは



- * 会員制
- * 有償制

「お互い様」の気持ちを大切にしたい、たすけあい活動です。

日常生活で困った時の、地域の皆さんによる有償たすけあい活動。身のまわりの家事援助や通院のお手伝い等を行う事業です。

利用会員
(利用される方)

家事援助

協力会員
(協力して下さる方)

福祉移送

利用申込

協力依頼



たすけあい事業
コーディネーター
(相談・調整役)

お問い合わせは☎
浅川地区たすけあい事業
担当：野口 TEL263-3365

利用料・1回/1時間
* 家事援助 500円
* 福祉移送 600円

* 家事援助 (食事づくり・衣類の洗濯・掃除・買い物)
* 福祉移送 (歩行困難な方の通院等の移送)

その他の主な事業・活動

報告 (8~9月)

☆浅川小学校児童のジャガイモ収穫体験学習

..... 8月28日 (火)

浅川小学校3年生64名が坂中地区の遊休農地を活用した畑で収穫体験学習を行いました。児童たちが4月11日に植え付けたジャガイモを収穫をした後、坂中地区の皆さんが採れたてのジャガイモでポテトサラダやふかしイモを作ってくれました。皆で美味しくいただきました。坂中地区の皆さん、これまでの畑の管理や、当日早朝からの料理の手配ありがとうございました。



【たくさん採れました！】

☆浅川チャレンジ (浅川小学校)

9月27日 (木)

☆浅川地区防災訓練

9月29日 (土)

※記事は次号掲載



【坂中のみなさん、ありがとう！】

予定 (10~11月)

☆浅川地区戦没者追悼式10月6日 (土)

☆秋の史跡めぐり (浅川公民館)10月20日 (土)

☆第38回浅川地区ゆうわ祭11月4日 (日)

みなさんの善意とご協力に感謝します！

～日本赤十字活動資金募集運動・緑の募金運動～

平成30年度
日赤活動資金・寄付金
集約結果

※日本赤十字社で災害救護や講習会などの活動資金として活用されます。また住民自治協議会に交付される事業費は地域福祉向上のため有効活用されています。

▶ 1,104,017 円 (昨年度1,111,030円)

平成30年度
緑の募金
集約結果

※募金総額の15%が募金活動費として住民自治協議会に交付されます。

▶ 187,918 円 (昨年度 191,946円)

広報委員から

今年はこれまでにないほど暑い日が続きました。白バラ会の活動は、8月5日に県知事選挙と県議会議員選挙がありました。また、今年から選挙権年齢が18歳に引き下げられました。会員の皆さんも暑い中、各地区にて選挙啓発運動としてティッシュ等を配りました。

期日前投票の立会人も経験させていただきました。立会人になって感じたことは大勢の方々が期日前投票をされていましたが、投票結果をみて投票率の低さに驚きました。皆様には大事な一票を無駄にしないでいただきたいと思いました。

広報委員になって“せせらぎ”の編集に携わり、浅川地区のさまざまな団体の活動を知りました。一年間よろしくお願いします。
(総務環境部会 浅川地区白バラ会 会長 窪田 智子)